

[野菜部門 平成 31 年度 指導参考資料]

事項名	反射シートの利用によるながいも「園試系6」のむかご生産量向上		
ねらい	ながいもの「園試系6」種苗用むかごは種子更新率の向上のため、その供給量の増加が求められている。露地栽培において、むかごの採種方法を検討したところ、反射シート利用により、増収することが明らかになったので参考に供する。		
指導参考内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 処理方法 ながいもの畦間に銀色の反射シート（ネオポリシャイン）を萌芽期頃から10月末頃まで展張する。（写真1）</li> <li>2 処理効果 むかごの総収量が1.5倍程度増加し、その内むかご径9.0mm以上の大型規格収量が1.4～1.9倍程度増収する。（表1）</li> <li>3 資材費 10a当たりの資材費は約62,000円となる。</li> </ol>		
期待される効果	ながいものむかご種苗の生産量が増え、種子更新率の向上に寄与する。		
利用上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ネオポリシャインを2作目以降、継続して使用した場合の効果は判然としない。</li> <li>2 他の反射シートで栽培した場合の効果は不明である。</li> <li>3 大型規格収量については、年次による変動がある。</li> </ol>		
問い合わせ先（電話番号）	野菜研究所 品種開発部 (0176-53-7171)	対象地域及び経営体	県下全域のながいも採種経営体
発表文献等	平成29～30年度 野菜研究所試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 反射シート（ネオポリシャインマルチ）によるむかごの増収効果 (平成 29～30 年 青森野菜研)

年次	処理方法	むかご収量(kg/10a)					小型規格収量	茎葉重(g/株)	いも総収量(kg/10a)
		総収量	大型規格収量						
				径 15mm 以上	14.9～12.0mm	11.9～9.0mm			
平成 29 年	反射シート(1年目)	238	98	5	18	75	140	507	4,685
	無処理	162	68	4	13	51	92	435	4,457
	無処理対比	147%	144%	125%	138%	147%	152%	116%	105%
平成 30 年	反射シート(1年目)	240	97	3	13	81	143	390	4,363
	無処理	152	51	1	8	43	102	382	3,834
	無処理対比	158%	190%	300%	162%	188%	140%	102%	114%

(注) 1 処理方法の反射シート括弧内の年数は使用年数を示す。

(注) 2 シートの展張期間は平成 29 年が 6 月 27 日～10 月 26 日、平成 30 年が 7 月 2 日～11 月 2 日。

(注) 3 むかごの大型規格は、径 9.0mm 以上のものとし、それ未満のものを小型規格とした。

(注) 4 茎葉重の調査日は、平成 29 年 10 月 27・30 日及び平成 30 年 10 月 31 日・11 月 1 日

【試験耕種概要】

試験圃場	(地独) 青森産技七野菜研 3 号圃 (平成 29 年)、4 号圃 (平成 30 年)
供試系統	キュウリパイプを利用して防虫ネットで覆った簡易網室で栽培
種子いも	園試系 6 (ウイルスフリー)
植付時期	切りいも 150±10 g
土壌消毒	平成 29・30 年 5 月 24 日
栽植様式	平成 29 年：クロルピクリンで実施、 平成 30 年：無し (前作緑肥)
施肥量	畦幅 120cm、株間 27cm 基肥：窒素：りん酸：加里=6.0:9.0:6.0(kg/10a) (萌芽期) 追肥：窒素：りん酸：加里=3.0:0.75:3.0(kg/10a)×3 回 (7/中・7/下・8/上)
つる誘引方法	キュウリネット (菱目) 使用。
反射シート被覆状況	幅 150cm のシート中央部を切断し幅 75cm にした ネオポリシャインを通路中央部に展張し、六角シート 押さえ(赤)で地面に固定。



写真 1 反射シート設置状況

<参考>

- ・ネオポリシャイン (幅 150cm、長さ 50m) 6,700 円 (税抜き)